

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 高岡 宏和

- I 開催年月日 令和 2 年 5 月 1 日（金）
II 会議時間 午前 11 時 10 分～午前 11 時 36 分
III 出席委員等 [出席委員] ◎高岡 宏和 ○福井 直樹 筏井 哲治
林 貴文 金平 直巳 樋詰 和子
水口 清志 狩野 安郎
(◎…委員長 ○…副委員長)
[説明員] 別紙名簿のとおり（薮下病院長は公務のため欠席）
[委員外議員] なし
[事務局職員] 西本 幸夫 堀田 寛之
[傍聴者] なし

IV 審査の概要

1 付託議案について

- 議案第 79 号 令和 2 年度高岡市一般会計補正予算（第 1 号）のうち本委員会所管分
議案第 80 号 令和 2 年度高岡市高岡市民病院事業会計補正予算（第 1 号）

以上、予算議案 2 件について、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。〉

（以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示）

【議案第 79 号のうち、特別定額給付金給付事業費について】

- 実施本部を 7 名の職員で構成するとのことだが、増員は必要ないのか。
△ 7 名で実施本部を立ち上げるが、申請書の受領など、事務量が増えてれば、会計年度任用職員の任用等も検討していく。場合によっては、他課職員への応援要請なども検討していきたい。
○ 給付金は遅くてもいつまでに支払われるのか。
△ 申請書に記載間違いがなく、添付書類に不備がなければ概ね 2～3 週間で支払えると考えている。

【議案第 79 号のうち、放課後児童健全育成事業費について】

- 各クラブに配付される消毒液やマスクの数量に人数割等の基準があるのか。
- △ クラブの利用人数にばらつきがあることから、実情に応じて必要と思われる数量を配付する。
- 放課後児童クラブの利用自粛に対する協力依頼の現在の状況は。
- △ 当初は、4 月 13 日から 5 月 6 日まで利用自粛の協力依頼をしていたが、5 月 31 日まで期間を延長することになった。放課後児童クラブは開所しているが、なるべく自宅で対応していただきたい。

【議案第 79 号のうち、母子保健相談・教育事業費について】

- 保健センターにおいて、ドライブスルー方式で妊婦へマスクを配付しているが、受け取りに来ることが困難な方への対処は。
- △ 本人でなくても案内ハガキと母子健康手帳を持参していれば代理でも受け取ることができる。今後妊娠届け出をされる方については、保健センターで、母子健康手帳の交付と合わせてマスクを配布する。

【議案第 79 号のうち、産後ケア事業費について】

- 受託事業者である医療機関や助産院に、本市において備蓄、寄附されたマスク、消毒液等を活用し、配付してはどうか。
- △ 現時点で集まっている備蓄、寄附されたマスク、消毒液等を受託事業者に対して配付することも検討していく。

【介護事業者への支援について】

- 介護事業者への支援について、今回予算計上がないが、今後、市独自の財政出動は検討しているか。
- △ 今のところ明確な回答はできないが、新型コロナウイルス感染症の影響は今後も続くことが予想されるため、いろいろ考えていきたい。
- 介護事業者に対する支援をしっかりと行ってほしい。（要望）

〔討論〕

（議案第 79 号のうち本委員会所管分に賛成の立場から）

- 国から地方への臨時交付金を活用した事業が多くある。本市では 2 億数千万円の活用を見込まれているが、全国的にみて 1 兆円規模と考えると、規模が小さい。全国知事会ではその数倍の財政出動が必要と言っていることも踏まえ、全国市長会等を通じて、今まで以上に交付金の増額を求めている。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（13名）

市民生活部長	梅 崎 幸 弘	市民病院長	藪 下 和 久
市民生活部次長 地域安全課長・環境政策室長	堺 啓 央	市民病院事務局長	崎 安 宏
共創まちづくり課長	室 谷 智	総務課長 栄養管理課長	新 田 裕 子
福祉保健部長	川 尻 光 浩	消防長	浦 島 章 浩
福祉保健部次長 参事	笹 島 永 吉	消防本部次長	山 口 喜 代 治
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	村 上 彰	総務課長 高岡・氷見消防広域化準備室長	有 澤 智 文
健康増進課長	山 本 美 由 紀		